

今年は44日間と、とても長い夏休みでしたが、皆さんはどのようにお過ごしになりましたか？私はパリオリンピックを大いに楽しみ、夏休み前半は寝不足の毎日を過ごしていました。自分よりも若い人たちが日本の代表として立派に競技されているのを見て、感動したのはもちろんなんですが、私と同じ世代の「初老ジャパン」の方々が総合馬術団体で銅メダルをとったり、スケートボードのイギリスの代表の方が51歳だったりするのを見て、「私もまだまだがんばらないと！」と気持ちを奮い立たせることができました。2学期も元気いっぱい！笑顔いっぱい！でがんばりたいと思います。

さて、長い夏休み先生たちは何をしていたかというと、



プレイルームの掃除をしたり、  
簡易プールを片付けたり、



救命救急の講習を受けたり、



いろいろな研修会を行ったりしました。

その他にも教材研究や設備の点検などいろいろなことをしていました。  
もちろん、休暇を取って疲れた体をリフレッシュすることもできました。

夏休み中に受けた研修の中で、長崎県内の特別支援学校の進路指導についての取組について、他校の先生方と意見を交わす機会がありました。そこで出た話題が「進路について考えるとき、小学部段階では何を考えていたらよいか」というものでした。小学部では、「高等部卒業なんてまだ先の未来」と思っている方はたくさんいると思います。けれど、この研修会に参加して、「小学部からコツコツすることが大切なんだ」ということを学びました。小学部の段階で意識しておきたいことをまとめました。



## <小学部段階から意識しておきたいこと>

### ○ダメなことはダメ！

…「人に危害を加える」「人の物を盗む」など、世間一般でダメと言われていることは絶対にしない。大人になってすると『犯罪』です。

### ○時間を守る

…時間を守ることで周りの人から信頼されます。  
職場において「遅刻」が常習化すると解雇の対象になりかねます。

### ○衛生面は清潔にする

…手洗い、洗顔、洗髪などきれいにしておかないと周りの人から嫌われます。  
「鼻くそをほじって食べる人」が隣にいたら嫌ですね。食品関係の会社からは絶対に雇ってもらえません。

### ○「ありがとう」「ごめんなさい」が言える

…感謝する心、反省する気持ちがある人は、周りの人から好感がもたれます。  
「ありがとう」「ごめんなさい」という言葉は人間関係を滑らかにします。

### ○友達と協力し合える

…友達と協力することで、豊かな人間関係が築けます。協力し合うことで、そのチームや職場の雰囲気はよくなり、作業効率向上にもつながります。

上記のことを、「小学部のうちに絶対にできるようにならないといけない」というわけではありません。小さい時から私たち大人が意識して、言い続けることで後に子どもたちの「コトノハ」になっていくのだと思います。高等部卒業後の進路選択で、子どもたちの選択肢を増やすために、一緒に種を蒔いて育てていきましょう。

